

# 令和元年第 4 回 高千穂町議会定例会

## 一般質問通告内容集約書

高千穂町議会事務局

【 6 名 11 件 】

質問日	順	質問者	件数	件名	頁
12 月 16 日 (水) 10 : 00~	1	磯貝助夫 議員	1 件	1. 公衆浴場の今後の運営について	1
	2	本願和茂 議員	2 件	1. 運転免許証自主返納支援事業の拡充と交通弱者対策の強化について 2. 総合運動公園、武道館等の使用料及び利用料減免措置について	2
	3	坂本弘明 議員	4 件	1. 山林皆伐による沿線道路の安全対策について 2. 高千穂鉄道公園化事業について 3. 町政施行 100 周年事業について 4. 台湾花蓮市との姉妹都市盟約 1 周年事業について	4
	4	板倉哲男 議員	1 件	1. 高千穂鉄道跡地公園化構想について	6
	5	安在昭則 議員	2 件	1. 町道改良工事について 2. 国見ヶ丘の景観について	12
	6	佐藤さつき 議員	1 件	1. 障がい者、高齢者、乳児連れの方、及び観光客の視点からとらえたバリアフリーな町づくりについて	13

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	磯貝助夫 議員	1. 公衆浴場の今後の運営について	<p>町は、本年3月に高千穂町公衆浴場等検討委員会を設置し、数回の会議を重ねるとともに、10月には町民に対して、アンケートを実施したところであります。</p> <p>また、議会としても議会報告会で公衆浴場問題をテーマに、町民の意見を頂いたところです。</p> <p>今回のアンケートは、町民の声を聞き、今後の検討会の参考にするとのことでした。11月22日が提出期限であり、多くの意見が出揃ったものと思われます。</p> <p>直接町民に意見を聞くと、利用している方、利用していない方、それぞれがこの状況を真剣に考えておられる様子がうかがえます。</p> <p>町としては、スピード感をもって早急にアンケートを集計し、町民の意見をまとめ、検討委員会としての方向性、町としての方針を示す必要があります。</p> <p>そこで、アンケート結果の詳細及び、町の今後の方針をうかがいます。</p> <p>1 アンケートの結果(回収率、意見のまとめ、比率)はどうだったか。                  2 今後の検討委員会及び町の方針は。                  3 過去10数年間、町は赤字対策及び運営努力をしてきたか。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	本願和茂 議員	1. 運転免許 証自主返納支 援事業の拡充 と交通弱者対 策の強化につ いて	<p>平成29年3月に改正道路交通法が施行され、高齢者講習制度が大きく変わりましたが、高齢ドライバーが引き起こす痛ましい死亡事故は、相変わらずマスコミで報じられています。</p> <p>ある統計データでは死亡交通事故率を調べると、75歳以上の減少幅は他の世代よりも大きく、高齢ドライバーの事故は減少しているとも言われています。</p> <p>その要因は高齢者の事故が増える以上に、高齢者が増加しているだけであり、運転能力の衰えた高齢者が引き起こす交通事故が、今後も増加することは確実視されています。</p> <p>このような状況を改善する施策として、国は車に搭載されたカメラやレーダーで他の車両や歩行者を検知し、衝突しそうになると自動的にブレーキをかけるシステム、いわゆる『自動ブレーキ』の搭載を2021年11月から義務付ける方向を示しました。</p> <p>本町では交通事故の減少を目的として、運転に不安を持つ方の免許証の自主返納に対して公衆浴場やバス、タクシー券の支給をおこなう、運転免許証自主返納支援事業に平成26年から取り組んでいます。</p> <p>65歳以上の高齢者が約40%、70歳以上では約30%の人口を占める本町においては、今後どのような支援や対策を強化し、子供・高齢者・交通弱者が安心して暮らせる環境を整えていくのか町長に伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ブレーキが義務化された場合の本町の対応や支援策について</li> <li>・既存車両への踏み間違い防止装置や、加速抑制システム施工費用支援について</li> <li>・免許証自主返納者の、ふれあいバス乗車賃の無償化について（年齢制限を設けて対応）</li> <li>・高齢ドライバーの安全意識・安全行動を促す活動の強化について</li> <li>・自主返納を促す家族を対象としたセミナーや、返納後のサポートの在り方について</li> <li>・電動車いす（シニアカー）購入費用助成について</li> <li>・安全性が十分に確保されていない通学路での事故防止と改良促進について</li> <li>・公用車のドライブレコーダー搭載について</li> </ul>	町長 教育長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	本願和茂 議員	2. 総合運動公園、武道館等の使用料及び利用料減免措置について	<p>10月31日に行った教育委員との意見交換会の中で、会に出席していただいた高千穂高校校長より文化活動を発表する神舞祭を、町武道館を借りて実施したお話がありました。</p> <p>その際に使用料や冷房使用料の減免について意見を述べられていましたが、高千穂高校への適切な対応を取ることが出来たのか、また今後の対応について協議や検討がなされたのか伺います。</p> <p>『高千穂町総合公園条例』、『高千穂町武道館の設置及び管理に関する条例』、『高千穂町自然休養村管理センターの設置及び管理に関する条例』の第11条には、町長は公益上その他必要があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することが出来ると謳われていますので、どのような場合が該当するのかお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで減免措置となったケースについて</li> <li>・今後、減免措置の対象、検討対象となるイベントや団体について</li> <li>・指定管理者との減免措置の協議について</li> </ul>	町長 教育長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	坂本弘明 議員	1. 山林皆伐による沿線道路の安全対策について	<p>近年、林業に携わる業者が増加しており、若者の就業者も増えています。</p> <p>28年連続素材生産量が日本一である本県の林業が活気を帯びていることは大変良い事ではありますが、広範囲の山林が短期間で伐採されており、急激な環境の変化を作り出しています。</p> <p>特に生活道路沿線の山林皆伐により、道路沿線は急に見渡しが良くなり、場所によっては道路下数10メートルの谷底が見え、「怖くて車での通行ができなくなった」という人もいます。</p> <p>また、これから本格的な冬を迎え、路面凍結の恐れもあり、生活道路としての活用ができなくなるのではないかと考えます。</p> <p>山林皆伐による急激な生活環境の変化に対して、行政として、スピード感を持った早急な対応・対策を講じる事はできないか伺います。</p>	町長
		2. 高千穂鉄道公園化事業について	<p>高千穂鉄道を活用して、営業状況も順調である「あまてらす鉄道」のスーパーカートは平成30年度52,000人の利用客があったとの事です。</p> <p>本年新車両を導入してさらに利用客増が見込まれており、この状況の中、町民や旅行観光関係者の関心は更に高まっています。</p> <p>町長が先の9月定例会で示された高千穂鉄道公園化事業について、鉄橋の塗装を含む整備費10億円と、この事業費を回収できる見込みについて伺います。</p> <p>1. 整備事業費10億円の財源について</p> <p>2. 公園化による町への収入見込みについて</p>	町長
		3. 町政施行100周年事業について	<p>来年、本町は町政施行100周年を迎えるが、その雰囲気を感じられません。</p> <p>同年、同じく100周年を迎える都農町ではすでに登旗を町内に立てて、100周年行事の雰囲気を演出・周知しています。</p> <p>本町が100周年を迎えるにあたり、こういった内容と規模の事業になるのか。また、その準備は進んでいるのか伺います。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	坂本弘明 議員	4. 台湾花蓮市との姉妹都市盟約1周年事業について	<p>今年10月8日、甲斐宗之町長をはじめ、本町を代表する商工・観光・農業団体の代表者ら10名が台湾花蓮市に訪問され、姉妹都市の盟約を締結してこられました。</p> <p>この事は花蓮市・高千穂町において、人・経済・文化など、さまざまな交流が発展していく事が期待されます。</p> <p>来年、町政施行100周年事業を控えており、引き続き花蓮市との姉妹都市盟約1周年を迎え記念行事も開催されると聞いていますが、次の2点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 記念行事の内容は</li> <li>2. 本町の外国人観光客の中には台湾からの観光客も多いと聞いているが、姉妹都市盟約の周知・PRとして、街中・観光地・個人宅（希望者）などに台湾国旗と花蓮市旗の掲揚をしてはどうか。</li> </ol>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
4	板倉哲男 議員	1. 高千穂鉄道 跡地公園化構 想について	<p>前回の令和元年9月定例会における行政報告の中で、高千穂鉄道跡地公園化構想についての発表がありました。</p> <p>公園化構想の内容をまとめると、以下になるかと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高千穂鉄橋を歩いて渡れる施設に改造し、塗装もする</li> <li>・高千穂鉄橋周辺に駐車場や休憩所等を設ける</li> <li>・概算の事業費が約10億円</li> <li>・年間30万人の来場と1億3000万円程度の収益を見込む</li> </ul> <p>高千穂鉄橋整備だけで約10億円、さらに周辺の駐車場や駐車場へのアクセス道の整備を入れると、それ以上の額となる大型事業です。</p> <p>そのため、慎重の上に慎重を重ねた検討が求められます。</p> <p>公園化構想について、質問をしていきたいと思えます。</p> <p>(1) 年間の来場者を30万人と想定している点について</p> <p>前回の9月定例会における町長の説明によると、高千穂町の観光入込客数が、年間およそ150万人で、このうち20%にあたる30万人の集客を見込んでいるということでした。</p> <p>一方で、九重町の九重“夢”大吊橋の事例についても言及され、こちらでは年間に約60万人の利用客があり、約3億円の収益があるとのことでした。</p> <p>では、九重町における年間の観光入込客数が何人で、そのうちの何%が大吊橋に来ているのかを見てみたいと思えます。</p> <p>平成23～29年のデータで見ると、九重町の年間の観光客数は平均で429万人です。</p> <p>同じ期間の大吊橋の年間来場者は平均で62万人です。</p> <p>つまり、九重町に観光で来た人の14.5%が大吊橋に来ているということになります。</p> <p>成功事例として参考にしている九重町の大吊橋でさえ、観光客全体の14.5%しか集客できていないことを考えると、鉄道公園化構想においても、来場者の予測を、観光入込客数150万人のうちの14.5%の約22万人、収益については9500万円と予想しておくべきではないかと思えます。</p> <p style="text-align: center;">&lt;次頁へ続く&gt;</p>	町長

4	板倉哲男 議員	<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p>(2) 「人が歩き、線路上を乗り物が走る」観光資源について</p> <p>町長は公園化構想についての記者発表のなかで、「人が歩き、線路上を乗り物が走るような観光資源はほかにはない。」という説明をされています。</p> <p>つまり、歩行可能な鉄道橋には希少性があり、全国の鉄道ファンをはじめ、多くの集客が期待できる、という意味だと思います。</p> <p>そこで、人が歩き、線路上を乗り物が走る鉄橋がほかにはないのか調べたところ、静岡県にある大井川鉄道井川線にある奥大井湖上駅の両側が鉄道橋となっており、線路の横を歩行可能とのことでした。</p> <p>ちなみに、大井川鉄道井川線には関の沢橋梁という鉄道橋があり、高千穂鉄道廃線後、日本一の高さ（川底から70.8m）の鉄道橋だそうです。</p> <p>また、日本で唯一のラック式鉄道（アプト式）区間のある路線でもあり、さらに、大井川鉄道本線では蒸気機関車の動態保存をされており、現在でもほぼ毎日運転されているとのこと、鉄道ファンには非常に人気のある線路だそうです。</p> <p>では、奥大井湖上駅が年間にどれだけの集客があるのかということ、大井川鉄道の公式発表で、年間2万4千人だそうです。</p> <p>ただし、近くに景観を楽しめる展望台があり、そこは鉄道に乗車せずとも車で行くこともできますそうです。</p> <p>奥大井湖上駅のある川根本町役場に問い合わせたところ、正確な統計はないが感覚的にという前置きの上で、鉄道利用者と同数程度が車で展望台に行っているのではないかとのことでした。</p> <p>つまり、奥大井湖上駅を目当てにくる観光客は年間に4万8千人と予想されます。</p> <p>ちなみに、川根本町の年間の観光客数は約63万人で、4万8千人は全体の約8%にあたります。</p> <p>仮に、この約8%を鉄道公園構想にあてはめると、150万人の8%は12万人となり、収益は5200万円となります。</p> <p>「人が歩き、線路上を乗り物が走る」観光資源の集客力を過信することなく、慎重な検討が必要だと思います。</p>	町長
---	------------	--	----

＜次頁へ続く＞



<前頁から続き>

4	板倉哲男 議員	<p>(3) 8年で投資を回収できると説明している点について</p> <p>収益の予測は、年間に1億3000万円程度とのことでした。そのため、8年で10億4000万の収益となり、8年で投資を回収できるという説明がありました。</p> <p>しかし、投資の回収は収益で考えるのではなく、収益から費用を除いた利益で考えるべきだと思います。</p> <p>前回議会で町長が九重町の大吊橋の事例説明をする中で、「年間3億円ほどの収益を上げ、1億円は借金の返済に、そして1億円は人件費等にあって、そして1億円は基金に積んでいる」という説明がありました。</p> <p>つまり、収益のうち、利益として残るのは1/3のみということです。</p> <p>もしも、この割合が鉄道公園にも当てはまるとした場合、年間の収益が1億3000万円あったとしても、利益はその1/3の約4300万になります。</p> <p>この場合、10億円の投資を回収するのに必要な期間は24年。</p> <p>あるいは、(1)の内容をふまえ、年間の収益が9500万円となるなら、その1/3は約3100万円となり、10億円の投資を回収するのに必要な期間は33年ということになります。</p> <p>さらに、(2)の内容をふまえ、年間の収益が5200万円となるなら、その1/3は約1700万円となり、10億円の投資を回収するのに必要な期間は58年ということになります。</p> <p>このように、投資の回収については、収益で考えるのではなく、利益で考えるべきではないかと思えます。</p> <p>(4) 事業の維持経費、損益分岐点の試算について</p> <p>10億円というのはあくまで初期投資の金額で、開業後の維持経費の試算については、まだ説明がないように思います。</p> <p>(3)では、借金の返済、維持経費、利益をそれぞれ1/3として試算しましたが、実際には維持経費の中には収益の多少によらず必ず発生する固定費と、収益の多少により変動する変動費があり、これらを上回ってはじめて利益になります。</p>	町長
---	------------	---	----

<次頁へ続く>

4	板倉哲男 議員		<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p>つまり、事業を計画するにあたり、固定費、変動費の予測と、それを踏まえたうえで、損益分岐点がどこにあるのかが、きちんと試算されている必要があると思います。</p> <p>(5) 高千穂鉄橋周辺の開発と景観への配慮について</p> <p>公園化構想の中には、旧天岩戸駅側、もしくは、大平側に駐車場と駐車場へ通じるアクセス道を整備するという計画も入っていると思います。</p> <p>この際に問題になるのが、景観の問題です。</p> <p>旧天岩戸駅側は栃又の棚田、大平側は尾戸の口棚田として、棚田百選に選ばれている景観的に美しい棚田となっています。</p> <p>また、平成30年3月定例会において、「高千穂町景観条例」が可決し、同時期に策定された「高千穂町景観計画」の中で、橋梁景観に関して、「景観資源となる橋梁周辺においては、橋梁からの眺望景観をできる限り阻害しないよう配慮する。」とあります。</p> <p>以上のことから、美しい景観への配慮が必要になります。</p> <p>(6) 民間企業との連携について</p> <p>公園化構想は、今までのところ町主導で計画がされています。しかし、営利目的の事業は行政よりも民間のほうが得意だと思います。また、民間企業は利益が見込めるなら、自ら出資することも考えられます。こうしたことから、民間企業と連携することで、よりよい事業ができるのではないかと思います。</p> <p>例えば、埼玉県秩父市に今年3月に開業した「秩父ジオグラビティパーク」は、行政と民間が非常にうまく連携した事業だと思います。</p> <p>この施設は、命綱をつけながら吊り橋をわたる「キャニオンウォーク」や、吊り橋の横にかけられたワイヤーを滑車で滑り降りる「キャニオンフライ」といったアトラクションを楽しめる施設だそうです。</p> <p>この事業は整備費用が1220万円で、全額民間企業が出資しており、秩父市はお金を一切出していないということです。</p> <p>また、年間で来場者は約5万人、売り上げは約2億円を見込んでいるということで、計算してみると、客単価が4000円になります。</p>	町長
---	------------	--	---	----

＜次頁へ続く＞

4	板倉哲男 議員		<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p>これからの観光施策として、入込客数を伸ばすことよりも、客単価を上げることが、より求められると思いますが、そうした意味でも「秩父ジオグラビティパーク」はよい事例だと思いました。</p> <p>鉄道公園についても、全てを町がするのではなく、こうした民間企業との連携を検討してはどうかと思います。</p> <p><b>【質問内容】</b></p> <p>以上をふまえ、町長にお尋ねします。</p> <p>(1) 成功事例である九重町の九重“夢”大吊橋でさえ、入込客数全体の14.5%しか集客ができていません。</p> <p>高千穂鉄道跡地公園化構想における集客の予測についても、30万人を下回る場合の想定もするべきではないでしょうか。</p> <p>(2) 「人が歩き、線路上を乗り物が走るような観光資源はほかにはない。」という説明をされますが、類似の観光資源は存在し、集客力においても30万人を集めるかどうかは疑問が残ります。</p> <p>やはり、今回の構想における集客の予測について、30万人を下回る場合も想定するべきではないでしょうか。</p> <p>(3) 「8年で投資を回収できる」という説明をされますが、投資の回収は収益ではなく、利益で考えるべきではないでしょうか。</p> <p>また、利益で考えた場合、何年で投資を回収できるとお考えでしょうか？</p> <p>(4) 鉄道公園を開業したとして、その維持費用はどれくらいかかると見込んでいるのでしょうか。</p> <p>また、損益分岐点となる収益はいくらになると見込んでいるのでしょうか。</p> <p>(5) 高千穂鉄橋と周辺の棚田は非常に美しい景観となっています。</p> <p>高千穂町景観条例や、高千穂町景観計画に則るだけでなく、より良い景観づくりに取り組む必要があると思いますが、景観についてどのような配慮をするお考えでしょうか。</p>	町長
---	------------	--	---	----

＜次頁へ続く＞

4	板倉哲男 議員		<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p>(6) 溪谷を活用した体験型事業を展開している民間企業がすでにあります。</p> <p>公園化構想について町だけで考えるのではなく、民間企業と連携して取り組めば、さらにより事業にできると思います。</p> <p>さらには資金面でも連携することができれば、町の負担を抑えることができると思います。</p> <p>こうした民間企業との連携はお考えでしょうか。</p>	町長
---	------------	--	--	----

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
5	安在昭則 議員	1. 町道改良 工事について	<p>三田井中心部は、町づくり整備計画事業により神殿通りなど道路は整備されていますが、青葉大橋から町道田口野橋線は平成19年の野菜出荷場周辺までの工事の施工でストップした状態になっています。</p> <p>宮交車庫付近まで残400m程しかなく、この区間に民家があることや地理的にもかなり難所のため工事が進まなかったのではないかと思います。</p> <p>しかしこの道路は小中学校の通学路でもあり、特に未整備のこの区間は道幅も狭く、また歩道もないため車も歩行者もかなり気を遣っています。</p> <p>またこの路線には街灯もなく、特に夕暮れ時など危険です。</p> <p>この路線沿いには家畜市場や野菜出荷場があり、家畜運搬車、野菜運搬車などの大型車の通行も多いのですが、松能橋からは時間規制により制限されているようです。しかし、普通車の通行は多い状況です。</p> <p>そこで町長にお伺いしたいと思います。</p> <p>1. この町道青葉大橋から松能橋までは都市計画道路と聞いているが、もともと一次計画が野菜出荷場までだったのか。</p> <p>2. 今後の改良計画の考えは</p>	町長
		2. 国見ヶ丘の 景観について	<p>国見ヶ丘は高千穂観光名所の一つであり、見晴らしの良いことが売りです。</p> <p>遠くは九重連山、祖母山、また下には三田井の街並みなど見え、実に雄大であります。最近周りの草木が大きくなり、特に新緑の頃は葉っぱで見えにくいところもあります。</p> <p>また、山頂にある展望台に上る階段はかなり木がかぶさっているようです。</p> <p>国定公園でありなかなか難しいと思いますが、景観をよくするためにも、現在上から4m程切り開けてありますがもう少し下まで切ることはいできないでしょうか。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
6	佐藤さつき 議員	1. 障がい者、 高齢者、乳児 連れの方、及 び観光客の視 点からとらえ たバリアフリ ーな町づくり について	<p>ノーマライゼーションが日常化してきた今日ではあるが、本町はいまだ障がい者等が生活しづらい場面が多く見られる。障がい者等の困り感を解消することは、同時に、これから迎える高齢化社会の中で、元気な時には予測しなかったであろう不便さを解消することとも共通してくると思う。</p> <p>健常者の気付かない不便さを抱えている方や、遠く全国から訪れる観光客の視点から見た不便さを解消するために、現状の問題点について町長の考えを聞きたい。</p> <p>1. 本町は県内トップの観光地であるが、障がい者用トイレに、小学生以上の車イス使用者が利用できる簡易ベッドを備えた多機能トイレがない。来年のオリンピック、パラリンピックの開催に伴う観光客の来町を考えると、当然設置するべきではないか。</p> <p>2. 1の質問に関連して、オストメイトのみ機能として設置してあるトイレ、又は、幼児用便器が設置してあるトイレ、場所によって機能が分散してトイレが作ってあるので、町民はもとより、観光客からしたら、全く分かりにくい。多機能トイレの設置も含めて、町内の障がい者用トイレマップがあると、便利でバリアフリー化が進むと考える。町としての対応は？</p> <p>3. 福祉の拠点であるげんき荘だが、障がい者用トイレが、車椅子で利用するとなると回転するスペースが充分でなく、利用しにくい。乳児から高齢者まで利用する施設だがエレベーターがない。対策は。</p> <p>4. 本年度の台風災害で、障がい者、乳児連れの方などの避難所難民の報告があった。障がい者、高齢者、乳児を連れた方たちが生活できる条件を整えた避難所を限定した福祉避難所の設置の考えは。</p> <p>5. 延岡しろやま支援学校高千穂校には、専門的な学校であるため、障がい者のための設備が備わっている。突然の大災害に備えて、日頃から連携を持っておくべきではないかと思うが、町としての考えを聞きたい。</p>	町長

6	佐藤さつき 議員		<p style="text-align: center;">＜前頁から続き＞</p> <p>6. 近年、バリアフリーの観点から、市町村の主要施設にはベビーベッドとプレイルームが備えてあるが、本町庁舎内にはいまだ未設置となっている。正面玄関の内側の扉の自動ドア化も含めて、設置の考えはあるのか。</p> <p>7. 来年度東京オリンピック、パラリンピックの開催に向けて、本町の観光客の増加が予想される。現状、高千穂峡周辺で乗用車の渋滞が問題となっており、特に中学校通りへの自家用車の入り込みは、安全性の面からも、住民の移動の面からも、住民が大変な苦痛をしいられている。対策を聞きたい。(道を間違える観光客にとっても、住民にとっても、バリアフリーではない。)</p>	町長
---	-------------	--	--	----